

令和 6 年度 自己点検・評価票

専門学校福祉リソースカレッジ広島

教職員が各自でそれぞれの評価項目の評価を行った。評価項目は以下のとおりである。さらに、各教職員が選択した数値の平均値を以下に示した。

令和 6 年度の平均値で□で囲んでいる数値は令和 5 年度より高い評価を意味する。□で囲んでいない数値は令和 5 年度と同じ、もしくは低い数値である。

1. 教育理念・目標

	評 価 項 目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1	平均値	
			令和 5 年度	令和 6 年度
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4 3 2 1	3.7	3.8
2	学校における職業教育の特色はあるか	4 3 2 1	3.7	3.5
3	福祉人材のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 3 2 1	3.2	3.2
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4 3 2 1	2.5	3.2
5	各学科の教育目標・育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4 3 2 1	3.2	3.2

① 課題

- ・ ほぼ適切に行われている。
- ・ 本校の精神保健福祉学科卒業生が病院や施設等で多く働いている。
- ・ どんな人材を育成するか、業界のニーズ等を理解し、学校としての方向性をより明確にする必要がある。

② 今後の改善方策

- ・ 学校運営方針について毎年度末には職員会議で検討し、教育理念・目的・人材育成象・学校経営方針・具体的項目を定めている。今後も継続していく。
- ・ 本校卒の数多くの精神保健福祉士がいることをもっと PR する。
- ・ ストレスチェックが義務になりつつあるので、民間企業でも精神保健福祉士を PR すべき。
- ・ 研修への参加は増えてきたので継続して積極的に参加し、必要とされる人材を教員間で共有する。学生に伝えていく。

③ 特記事項

2. 学校運営

	評 価 項 目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1	平均値	
			令和 5 年度	令和 6 年度
1	運営方針・事業計画・規則等が明確にされ、有効に機能しているか	4 3 2 1	3.0	3.0
2	人事、給与に関する規程等は整備されているか	4 3 2 1	2.8	3.2
3	総務・財務等の意思決定システムは整備されているか	4 3 2 1	3.2	3.2
4	業務分掌は適切か	4 3 2 1	3.0	3.2
5	コンプライアンス体制は整備されているか	4 3 2 1	2.6	2.8
6	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4 3 2 1	3.2	3.8
7	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 3 2 1	2.8	2.8

① 課題

- ・コンプライアンス体制について改善が必要。
- ・業務を効率的に適切に行えるよう見直していく必要がある。

② 今後の改善方策

2-1、4、7について

教育理念は明確にされており、第三次中期事業計画（令和6年から10年度）において目標数値等を明確にした。今年度は事業計画の初年度であったため、中期目標や行動計画の見直しや評価指数及び目標値の修正を行った。今後は、校務分掌のマニュアル化を図り全教職員の共通理解のもと組織的に取り組んでいく必要がある。

2-5について

校内において文化庁著作権課のリーフレット「令和5年度改訂版 学校における教育活動と著作権」の内容に従い、次の4つについて勉強会を行った。

- ①学校の授業における複製またはインターネット送信
- ②試験問題としての複製
- ③レポート作成などでの引用
- ④文化祭、部活動などでの上演等

この内容を校務分掌の各担当者が勉強し、職員会議において全教職員で共有した。

今後も継続して教職員のモラル（飲酒運転や交通違反・事故等）やハラスメント（パワハラ、セクハラ等）、不正経理、個人情報取り扱いなどについて注意喚起をしていく必要がある。

- ・一つひとつの業務内容を見直し、職員間で意見を出し合いながらマニュアル化を進める。

③ 特記事項

④ 2-4、7について

- ⑤ 就業規則のデジタル化や校務分掌のマニュアル化等により、徐々に業務の効率化が図られている。特に、セコムの災害時における安否確認システム（アプリ）の利用開始は学生や教職員の災害時における安否確認、教職員の家族や家屋等の状況、災害の状況等も合わせて確認できるので、その後の対応や状況確認、報告等がスムーズに行えるようになった。

3. 教育活動

	評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1				平均値	
						令和 5年度	令和 6年度
1	教育理念に沿った教育課程の編成、実施方針等が策定されているか	4	3	2	1	3.0	3.3
2	業界のニーズを踏まえた修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	3	2	1	3.5	3.7
3	学科のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2	1	3.7	3.7
4	実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	3	2	1	2.8	3.0
5	関連分野の企業等や業界団体との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	3	2	1	2.8	2.8
6	関連分野における実践的な職業教育（実習等）が体系的に位置づけられているか	4	3	2	1	3.2	3.2
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	2	1	2.2	3.0
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取入れているか	4	3	2	1	2.7	2.7
9	成績評価、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3	2	1	3.5	3.5
10	資格取得等に関する指導体制は、カリキュラムの中で体系的に位置づけられているか	4	3	2	1	3.0	3.7
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことのできる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1	3.3	3.7
12	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員	4	3	2	1	3.0	3.0

	の指導力・資質向上のための取組が行なわれているか						
13	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	2	1	2.7	3.0

① 課題

・令和6年度から、新カリキュラムがスタートしたが準備不足であった。

② 今後の改善方策

・各担当科目において自己学習を継続する。

③ 特記事項

4. 学習成果

	評 価 項 目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1				平均値	
						令和 5 年度	令和 6 年度
1	就職率の向上が図られているか	4	3	2	1	3.0	4.0
2	資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1	3.5	4.0
3	退学率の軽減が図られているか	4	3	2	1	3.3	3.8
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1	3.3	2.8
5	卒業後のキャリア形成効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	3	2	1	2.4	2.7

① 課題

・卒業生の状況や、キャリアの現状をあまり把握できていない。
・就職先へのアンケートを実施し、卒業生の評価等を把握しているが、学校の教育活動に活用することについては検討が必要。
・卒業生の状況を把握するため、学校としてどういった方法があるか検討していく。

② 今後の改善方策

・アンケートを実施し、調査する必要がある。
・合格率100%を目標とする。
・卒業生本人やその就職先とのつながりを継続していく。

③ 特記事項

5. 学生支援

	評 価 項 目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1				平均値	
						令和 5 年度	令和 6 年度
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	3	2	1	3.0	3.3
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	2	1	3.2	3.2
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	3	2	1	3.0	3.5
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	2	1	2.6	2.3
5	学生の課外活動に対する支援は行われているか	4	3	2	1	3.0	2.5
6	保護者(保証人)と適切に連携しているか	4	3	2	1	3.0	2.3
7	大学等との連携による職業教育の取組が行われているか	4	3	2	1	2.4	2.5
8	卒業生への支援は行われているか	4	3	2	1	2.8	2.5

① 課題

- ・国家試験に不合格であった学生に対する支援を強化する必要がある。

② 今後の改善方策

- ・国家試験に不合格であった学生に対し、模擬試験の受験や、来校して勉強することを勧める。
- ・不合格であった学生に対し、卒業後も支援し、国家試験取得へつなげられるような体制を検討する。

③ 特記事項

6. 教育環境

	評 価 項 目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1				平均値	
						令和 5 年度	令和 6 年度
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2	1	3.0	2.8
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1	3.2	2.7
3	防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1	3.0	3.3

① 課題

- ・1年制のため講義開始3カ月経過後に実習に送り出さざるを得ない現状がある。
- ・年に1回は防災訓練をすればいいと思う。
- ・防災に対する整備がなされていない。

② 今後の改善方策

- ・実習指導以外の科目でも、実習に向けた準備を行えるような内容を取り入れる必要がある。
- ・年に1回防災訓練をする。
- ・防災についての関心を高め、必要な取り組みを検討していく。

③ 特記事項

7. 学生募集

	評価項目	適切…4 やや不適切…2	ほぼ適切…3 不適切…1	平均値			
				令和 5年度	令和 7年度		
1	学生の募集活動は、適正に行われているか	4	3	2	1	2.5	2.8
2	学生募集活動において、教育効果は正確に伝えられているか	4	3	2	1	2.8	2.7
3	学納金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1	3.2	3.3

① 課題

- ・ホームページの見出し（コンテンツ等）が、わかりにくいため、改善が必要。
- ・大学訪問を実施することができたが、それと比較して施設訪問が不十分だった。
- ・西部地域を中心とした病院、施設訪問ができなかった。
- ・ホームページやSNSなど今の時代に合った募集活動を行う必要がある。

② 今後の改善方策

- ・年に1回、病院、施設、市役所、地域包括等を訪問する。
- ・HPの見直し、ニュースをアップする回数の増加を目指す。

③ 特記事項

8. 法令の遵守

	評 価 項 目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1	平均値	
			令和 5 年度	令和 6 年度
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4 3 2 1	2.8	3.0
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4 3 2 1	3.0	3.0
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 3 2 1	3.2	3.0
4	自己評価結果を公開しているか	4 3 2 1	3.2	3.7

① 課題

- ・個人情報の保護の体制、仕組みづくりを整える必要がある。

② 今後の改善方策

- ・職員個々では対策をとれているので、それを明確化する。

③ 特記事項

9. 社会貢献・地域貢献

	評 価 項 目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1	平均値	
			令和 5 年度	令和 6 年度
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 3 2 1	2.3	2.5
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 3 2 1	2.7	2.8
3	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4 3 2 1	3.5	3.2

① 課題

- ・(学業、実習、就職活動等により) ボランティアまでできる学生が限られている。
- ・社会貢献・地域貢献として具体的にどのようなことが学校としてできるのか考える必要がある。

② 今後の改善方策

- ・病院施設等でボランティアを5回以上したものを表彰するといった、ボランティアをしたものに学内での表彰制度をつくればいいのか。
- ・職員会議での情報共有や、他行の実績等を情報収集し、本校として実施できることを検討していく。

③ 特記事項

- ・地域に対する公開講座は実施していない。